



女子

随ち

R18
FOR ADULT ONLY

「なによ…これ！」

「きららちゃんのお友達だよ
今ここにはいないけどね…」
「…わたしはなにを
すればいいのよ？」

「物分りが早くていいね…
ならもうこれからのことは
わかるよね？」
「きららちゃんは気持ちいいことだけ
考えてればいいんだよ！」

「あんな人たち…
絶対後悔させて
やるから！」

「きゅんきゅん」

「なんでこんなこと
するのよ!!」

「きららちゃん
かわいいからいろいろ
嫉妬しちゃうんだよ」
人がいるんだよ」

「そんなわけで
きららちゃんを
再起不能にして
ほしいんだってさ」

「いやっ…!?!」

ズ
ン

「分かってるよね？
お友達が大事なら大人しく
してたほうがいい…」

「くう…」

「大人しくしてれば
気持ちいいことしか
しないからさ…
ほら…もうきららちゃん
の乳首も大きくなってるよ♡」

「…んっ…あんっ…
勝手なこと言わないでよ…」

「ふふっ…威勢がいいねえ
じゃあきららちゃんにはもつと
エロいことしてもらおうかな…」

「くっ…絶対
負けないんだから…」

「どうだいその衣装
気に入ってくれた？」

「こんな…
裸より恥ずかしい恰好……」

「ちなみに今までずっと
撮影してるから……」

「きらちゃんのエロい姿
いろんな人に見てほしいからさ……」

「そんなっ…!？」

「ふざけたこと言っで
んぐらうっ!？」

「んぐ…
ほら抵抗
するなっで……」

「んんっ！んむう！！」

「じゃあそろそろ」
きららちゃんのを
楽しませてもらおうかな…」

「ひい？」

「んちゅっ…んふう♡
ふあっふあと…射精し
なひやいっつて…！！」

「今は耐えなきや…
はるはるやみなみんの
ためにも…」

きららちゃん

「おっ♡積極的だねえ
きららちゃんも
結構好きなんじゃないの」

「勝手なことを…！！」

「おう…もう出そうだ！
きららちゃん♡」

「んっ!んぐっ!!」

「ふっふぐっ!!
んんぐう!!」
「そんな睨まない睨まない!」

「この媚薬ローションなら
そんなきららちゃんも
すぐトロトロに
なれるから!」

「いいねえ♥きららちゃんの
おまんこがよく見えるよ♥」

ん!?



「んお…おおっ…!？」

「ふふっ効いてるみたいだね
この薬で耐えられた子は
いないんだよね♥」

んお

んお

んお

んお



「我慢してもムダだって♥」
ズブろう?!

「んお…おおっ…!？」
んお…おおっ…!!
んお…おおっ…!!

なヤ…なにこれ？体中熱いで…
なにかされたら…
なにかされたら…

んお

「んおおおおお!!
えぐえぐえぐ!!」

「あゝあゝ派手にイッたね
：かわいい顔が随分
だらじなくなっちゃって…」

「あゝ♡」

「もうガマンできないだろ?
もっと気持ちよくなりたかったら
ちゃんとおねだりしてみな」

「あう…もうだめえ…
抗えないよう♡」

「お…お願い…します…
きららのココ…
媚薬で発情させられた
トコトコのおおマンコで…」

ガチガチのふつとい
おおチンポを…
奥までねじ込んで
気持ちよくして…くたせろ♡」

はあ

「あーもうじっかり
記録したから
きららちゃん
お終いかもねえ♡」

「うっ…言わないでえ…
でも…もうガマン…
できないのぉ♡」

ああ…言っちゃった…♡
でもこれで…あの二人も…
ならもう…いいよね…♡

スチゅっ♥スフツ♥

「あんっ♥んああん
しゅごいつ♥奥まで…
そんな突いたら…
んひいい!!」

「おおっ♥
急に締め付けてきて
きららちゃんいいねえ♥」

あん

あん

あん

あん

「ああん♥
おまんこお♥
おっぱい♥
あはあ♥
全部いいの♥」

あは

「ほりどこがいいか
自分で言ってごらん
もつと気持ちよくなれるから♥」

あん

あん

「ほらほら
まだバテてもらっちゃ
困るなあ♡」

「あ…あひ…♡
ご…ごめん…なさいら…
でも…気持ち
よすぎてえ♡」

「あま♡」

「ちよっとクスリ
使いすぎたかな…
まあいいか」

「予定の依頼は達成したし
あの二人は解放したから…
きららちゃんには
これから別のお仕事
してもらおうかな…」

「ああ…よかった…
二人は無事なんだ…
でも…私は…もう…♡
「はい♡
なんでもしますからあ…
もっと気持ちよくしてえ♡♡」

「はま♡」

「はま♡」



「…きさら…」
「体どうしたのかしら…」

「私たちとは
別だったみたいだけど…」
「みなみさくん！」

「これは…?」
「みんなのところ
届いてるみたいで…
もしかしたらきさらちゃん
の手がかりかも！」



ピッ…ザー……

あは

『…もう撮ってるぞ…ほら』

『…きさらのボディオ見てくれて
ありがとうとお♡
わたし実はあ、エッチなこと
とおろっても大好きだったの♡
今日はそんなきさらの本当の姿
いっぱい見てほしいなあ♡』

「!?!」

『あんなに強くてマッサージ
しちゃダメえ♡』

『そんなにしたら
私もコリファンじゃって...
欲しくなっちゃうじゃない♡』

あ

あ

んん♡♡♡おはなはな♡♡♡

『じゃあいっぱい舐め舐め
しちゃいます...』

あは

『あつ♡すっごい♡
ガッチガチのおチンポ
いっぱい♡』

あ



『んふんー
おじんの♡おめおめ♡』

やぶつく!!

じゅぽ♡

じゅぽ♡

おびんご♡

しんぷん♡

『はあ♡はあ♡
いきなりすごい♡
もんちゅ♡おいしい♡
もっとおいひい...♡
ザーメンほしいの♡
『そんなに欲しいなら
きららちゃんのもつと
変態でスケベなところ
見せてよ♡』

『んふ♡はあい♡♡』

はま♡

はま♡



『いいねえ♡
似合ってるよ
んきららちやん♡』

『ねえ、ホントに
もっがまんできないのぉ♡
んちゅ♡なんでも
すりゅからおねがいい♡』



『それならメス犬らしく
チンチンしながら♡
おねだりしてみろよ』

『そ…そんなにやほごお…』

『で…き…な…ら…の…♡』

『……んひっ♡
できましゅ♡♡
やらしえ♡VINOUSO♡』



「わんわん♡
メス犬きららのだらしない
発情おマンコに
おチンポお恵みください♡
わん♡」

「そこまで
言われたら
しかたないなあ♡」

「おほお♡
おチンポお
おチンポお♡」

「おほ♡」

ズフウっ!!

「お！
きたあ♡おチンポ！
ひん♡しゅ♡しゅ♡いのお♡」

「...どうだ？このまま
性処理便器になれよ...
こんな変態なきらちゃん
もう便器として生きてく
ないんだよ♡」

「んっ♡おおっ♡
は...はひい♡
そ...そうですっ♡」

『きりりはあ♥んっ♥
いつだっておチンポ
ほしくおまんこ』
発情させてる
変態メス便器ですう♥』

『んおっ♥だからあ
いつでもっ♥どこでもっ♥
きららの発情おまんこで
おチンポご奉仕して
いっぱい精液排出
していっぺくさあ♥』



『よく言えました♥
それでこそ
変態きりりちゃん♥』

すばあん!!

『んひっ♥
んおおん♥
ありがと…♥
ごじゃいましゅ♥』



『きららちゃん
くっちゃんも頼むよ!♡』

『こっちゃんも忘れんなよ
便器ちゃん♡』

『はあい♡
いっばいなめなめ
ご奉仕しまあす♡』



『ケツももっと
動かして自分で
ねじ込むんだよ!!』

『んぶっ♡ふあい!
んっ♡んぐ♡
もっ♡もうダメ♡
イク!!
いっちゃんましゅ...♡』

『じゃあ最後に
きららちゃんの
メス便器宣言で
締めようか♥』

『ふあ…ははは…♡♡♡』



あはっ♡

『あん♡みなさあん
きららの変態エッチ見てくれたあ？
きららはあ！変態メス便器に
なっちゃいました♡』

『これからはモデルじゃなくて
性処理便器として
みんなを笑顔にしちゃいます♡
きららを見かけたら
遠慮しないで言ってね♡』

『一生懸命
おチンポ奉仕
しちゃうます♡』

メス
メス



『変態メス便器
きららを！』

『メス♡おチンポ』

■あとかき

きららちゃんには
ビッチが似合う



きんぐら 落ち

発行日
2015/8/16

発行
あっちの生活
印刷

コーシン出版様
連絡先

anotherlife.second@gmail.com
<http://anotherlifesecond.tumblr.com/>

※本書は18歳未満の方の購入・閲覧を禁じます。